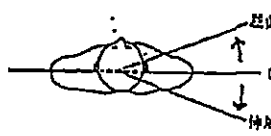
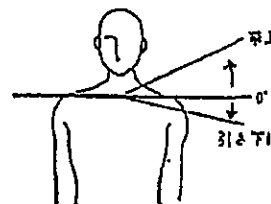
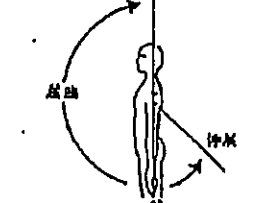
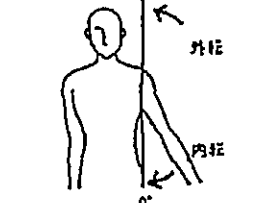
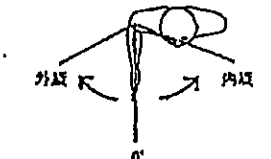
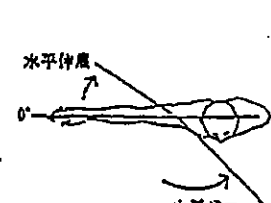
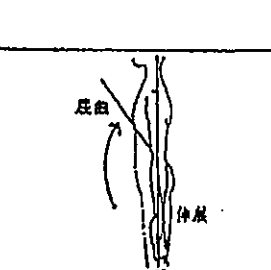


II: 上肢測定

部位名	運動方向	参考可動域角度	基本軸	移動軸	測定肢位および注意点	参考図
肩甲帯 shoulder girdle	屈曲 flexion	20	両側の肩峰を結ぶ線	肩頂と肩峰を結ぶ線		
	伸展 extension	20				
	挙上 elevation	20	両側の肩峰を結ぶ線	肩峰と胸骨上縁を結ぶ線	背面から測定する。	
	引き下げ (下制) depression	10				
肩 shoulder (肩甲帯の動きを含む)	屈曲(前方挙上) forward flexion	180	肩峰を通る床への垂直線(立位または座位)	上腕骨	前腕は中間位とする。体幹が動かないように固定する。脊柱が前後屈しないように注意する。	
	伸展(後方挙上) backward extension	50				
	外転(側方挙上) abduction	180	肩峰を通る床への垂直線(立位または座位)	上腕骨	体幹の側屈が起こらないように90°以上になったら前腕を回外することを原則とする。 □ [VI. その他の検査法] 参照	
	内転 adduction	0				
	外旋 external rotation	60	肘を通る前額面への垂直線	尺骨	上腕を体幹に接して、肘関節を前方90°に屈曲した肢位で行う。前腕は中間位とする。 □ [VI. その他の検査法] 参照	
	内旋 internal rotation	80				
	水平屈曲 horizontal flexion (horizontal adduction)	135	肩峰を通る矢状面への垂直線	上腕骨	肩関節を90°外転位とする。	
水平伸展 horizontal extension (horizontal abduction)	30					
肘 elbow	屈曲 flexion	145	上腕骨	橈骨	前腕は回外位とする。	
	伸展 extension	5				

部位名	運動方向	参考可動域角度	基本軸	移動軸	測定肢位および注意点	参考図
前腕 forearm	回内 pronation	90	上腕骨	手指を伸展した手掌面	肩の回旋が入らないように肘を90°に屈曲する。	
	回外 supination	90				
手 wrist	屈曲(掌屈) flexion (palmar-flexion)	90	橈骨	第2中手骨	前腕は中間位とする。	
	伸展(背屈) extension (dorsiflexion)	70				
	桡屈 radial deviation	25	前腕の中央線	第3中手骨	前腕を回内位で行う。	
	尺屈 ulnar deviation	55				

III. 手指測定

部位名	運動方向	参考可動域角度	基本軸	移動軸	測定肢位および注意点	参考図			
母指 thumb	腕側外転 radial abduction	60	示指 (腕骨の 延長上)	母指	運動は手掌面とする。 以下の手指の運動は、原則 として手指の背側に角度計 をあてる。				
	腕側内転 ulnar adduction	0							
	掌側外転 palmar abduction	90						運動は手掌面に直角な面と する。	
	掌側内転 palmar adduction	0							
	屈曲 (MCP) flexion	60	第1中手骨	第1基節骨					
	伸展 (MCP) extension	10							
	屈曲 (IP) flexion	80	第1基節骨	第1末節骨					
	伸展 (IP) extension	10							

部位名	運動方向	参考可動域角度	基本軸	移動軸	測定肢位および注意点	参考図	
指 fingers	屈曲 (MCP) flexion	90	第2-5中 手骨	第2-5基 節骨	□ [VI. その他の検査法] 参照		
	伸屈 (MCP) extension	45					
	屈曲 (PIP) flexion	100	第2-5基 節骨	第2-5中 節骨			
	伸屈 (PIP) extension	0					
	屈曲 (DIP) flexion	80	第2-5中 節骨	第2-5末 節骨		DIP は10°の過伸屈をとり うる。	
	伸屈 (DIP) extension	0					
	外転 abduction.		第3中手骨 延長線	第2, 4, 5指軸		中指の運動は純側外転, 尺 側外転とする。 □ [VI. その他の検査法] 参照	
	内転 adduction						

(附) 関節可動域参考値一覧表

関節可動域は、人種、性別、年齢等による個人差も大きい、また、検査部位等により変化があるので、ここに参考値の一覧表を付した。

部位名及び運動方向	注1	注2	注3	注4	注5
肩					
屈 曲	130	150	170	180	173
伸 展	80	40	30	60	72
外 転	180	150	170	180	184
内 転	45	30		75	0
内 旋	90	40	60	80	
肩外転 90°				70	81
外 旋	40	90	80	60	
肩外転 90°				90	103
肘					
屈 曲	150	150	135	150	146
伸 展	0	0	0	0	4
前腕					
回 内	50	80	75	80	87
回 外	90	80	85	80	93
手					
伸 展	90	60	65	70	80
屈 曲		70	70	80	86
尺 屈	30	30	40	30	
桡 屈	15	20	20	20	
母指					
外 転 (捻轉)	50		55	70	
屈 曲				15	
CM				15	
MCP	50	60	50	50	
IP	90	80	75	80	
伸 展				20	
CM				20	
MCP	10		5	0	
IP	10		20	20	
指					
屈 曲					
MCP		90	90	90	
PIP		100	100	100	
DIP	90	70	70	90	
伸 展					
MCP	45			45	
PIP				0	
DIP				0	